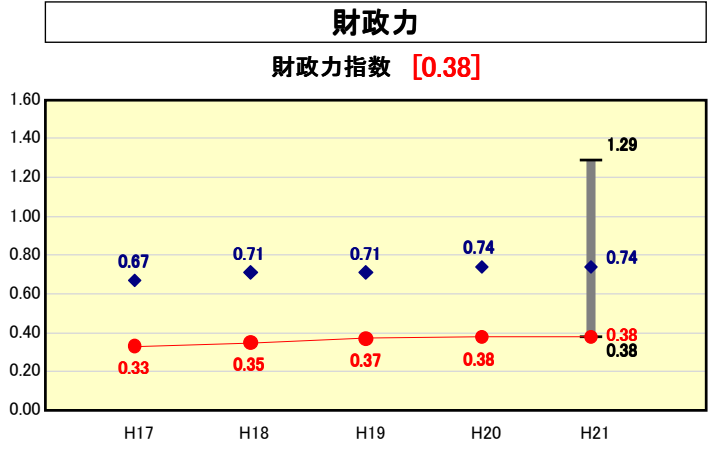


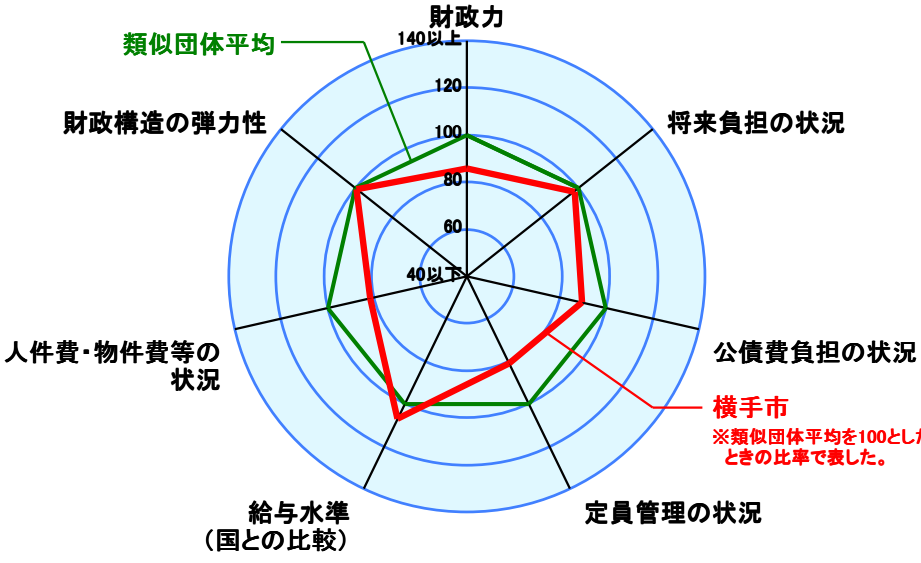
市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)



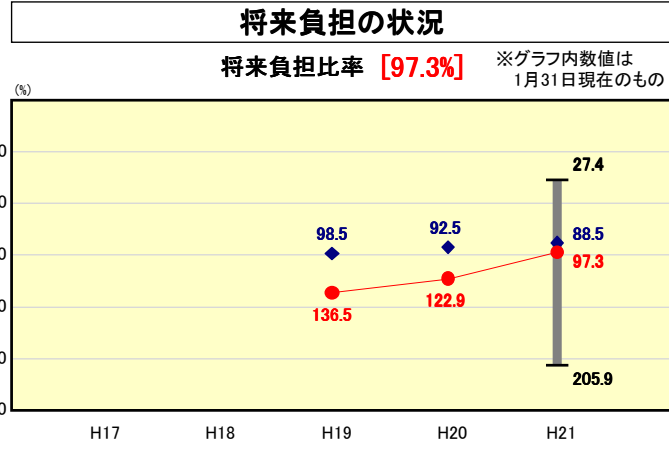
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 12/12
全国市町村平均 0.55
秋田県市町村平均 0.33

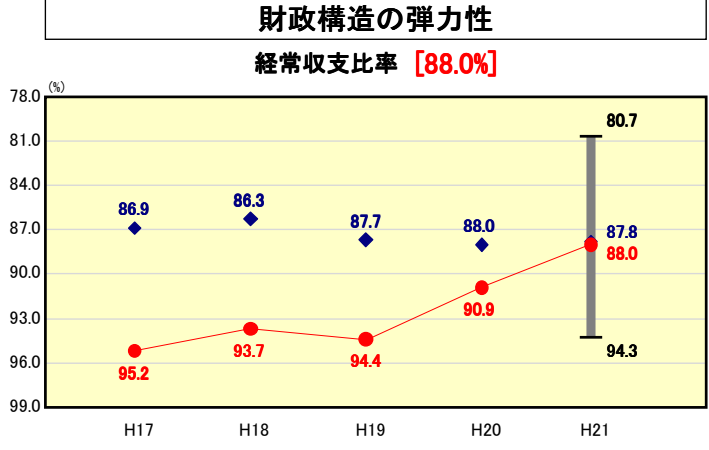
人口	101,340	人(H22.3.31現在)
面積	693.04	km ²
標準財政規模	31,851,415	千円
歳入総額	55,356,991	千円
歳出総額	53,132,568	千円
実質収支	1,561,901	千円



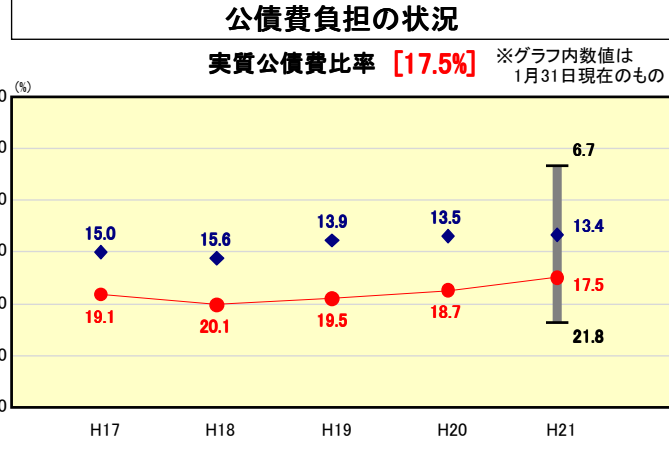
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



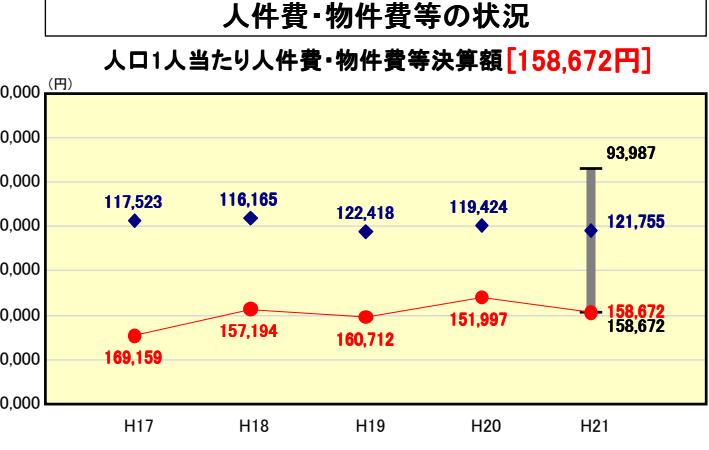
類似団体内順位 6/12
全国市町村平均 92.8
秋田県市町村平均 136.4



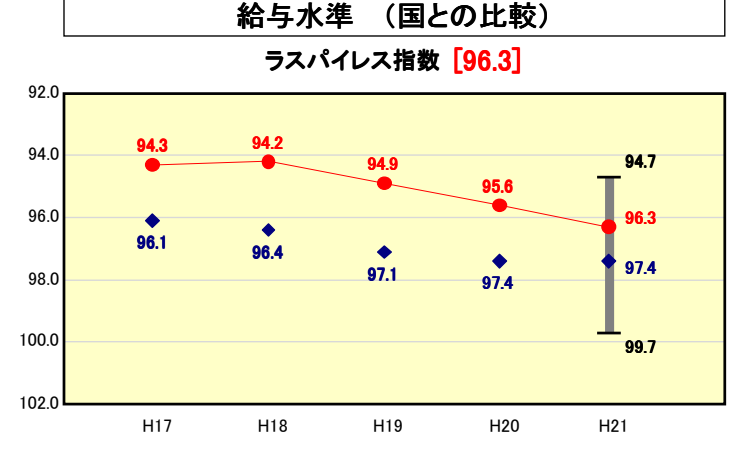
類似団体内順位 4/12
全国市町村平均 91.8
秋田県市町村平均 90.1



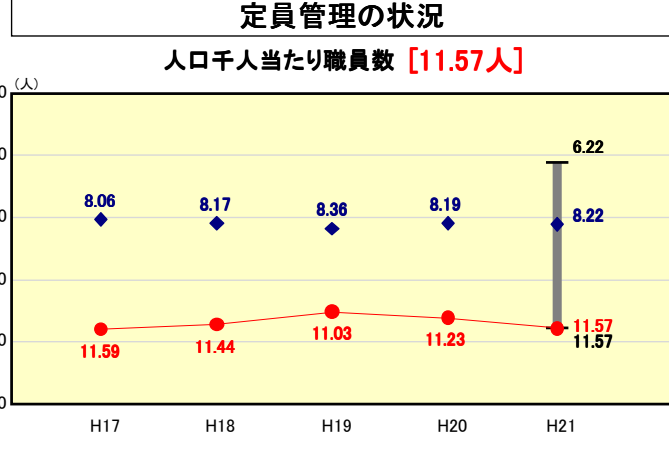
類似団体内順位 10/12
全国市町村平均 11.2
秋田県市町村平均 16.7



類似団体内順位 12/12
全国市町村平均 115,856
秋田県市町村平均 140,079



類似団体内順位 4/12
全国市平均 98.8
全国町村平均 95.1



類似団体内順位 12/12
全国市町村平均 7.33
秋田県市町村平均 9.63

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力】
人口減少の進行等、今後も財源の確保は非常に厳しいことから、依然として類似団体平均を大幅に下回っている。農工商連携による産業振興や市税等の未収金対策に取り組み、歳入確保に努めていく。

【財政構造の弾力性】
経常収支比率は、昨年度の90.9%から88.0%に減少した。これは、歳入面では普通地方交付税の増、歳出面では、起債発行抑制及び補償金免除繰上償還の実施による公債費の減が大きな要因としてあげられる。今後とも義務的経費の削減に取り組みながら、事務事業全体の見直しを図っていく。

【人件費・物件費等の状況】
人件費、物件費等の人口一人当たり決算額は、昨年度の151,997円から158,672円と増加し、依然として類似団体平均を大きく上まわっている。主な要因としては、ゴミ処理業務や消防業務を一部事務組合によらず市単独で運営していること、外、保育所、養護老人ホーム等の福祉施設の直営運営箇所が多いということも要因に挙げられる。このため、可能なところから順次指定管理制度への移行や民営化移管を進めながら、類似施設の統廃合に取り組み、コストの低減を図っていく。

【給与水準(国との比較)】
全国の類似団体との比較でもかなり下回っており、今後とも定員管理の適正化と合わせて、適正水準を維持していく。

【将来負担の状況】
将来負担比率は、これまでの建設事業の抑制による地方債現在高の減、充当可能基金の増などにより比率が減少した。しかし、今後は小中学校統合事業やごみ処理統合事業等の大型事業の影響により公債費負担の増が見込まれているため、充当可能財源の確保と建設事業の平準化等を検討する。

【公債費負担の状況】
実質公債費比率は、昨年度の18.7%から17.5%と1.2ポイント改善しているものの、依然として類似団体平均を大きく上回っている。公債費負担適正化計画に基づき平成24年度までは改善する見込みであるが、今後の大型事業により多額の市債発行が予定されていることから、将来を見据えた持続可能な財政運営に努めていく。

【定員管理の状況】
前年度と比較して0.34人増加しているが、類似団体と比較すると突出して多い。集中改革プランに基づいて、平成18年度から平成27年度までの10年間で25%以上の職員数削減が可能となるよう、毎年の職員新規採用者数を退職者の5分の1程度(おおむね7人)に抑制しており、職員の削減ペースは加速している。
平成23年4月より、合併後の分庁型から本庁集約による機構改革を予定しており、早期に類似団体レベルに到達するよう更に努めていく。